

## 5. 名古屋圏の住宅地

(前年変動率)

**愛知県** 名古屋市は 2.4%上昇(1.8%上昇)。戸建住宅地、マンションともに需要が強く、特に優良住宅地への需要が堅調で上昇基調を続けている。特に、東区は 4.4%上昇(5.7%上昇)、昭和区は 5.3%上昇(4.5%上昇)、緑区は 4.0%上昇(3.7%上昇)と 4%を超える上昇となった。  
西三河地域は、地域経済が好調で堅調な住宅地需要から、上昇基調を続けている。しかし、刈谷市は 2.0%上昇(3.7%上昇)、安城市は 1.8%上昇(3.6%上昇)、みよし市は 2.3%上昇(3.7%上昇)と上昇基調を弱めている。  
尾張地域は、名古屋市中心部への交通利便性が良好なこと等から需要は堅調であり、特に豊明市は 2.9%上昇(1.1%上昇)、日進市は 4.6%上昇(2.0%上昇)、長久手市は 2.3%上昇(1.2%上昇)と上昇基調を強めている。  
知多地域は、名古屋市中心部への交通利便性が良好な一部の地域で需要が回復し上昇している市町が見られるが、その他の地域では、依然下落基調が続いている。

**三重県** 四日市市は 0.6%( 1.1%)。桑名市は 0.9%( 1.3%)。名古屋市中心部への交通利便性が良好なことから優良住宅地への需要が堅調で上昇地点が見られ、下落基調を弱めている。

